

第18期決算公告

平成28年6月24日

東京都千代田区大手町一丁目9番7号



取締役社長 酒巻 弘

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,201,878	流動負債	32,185
現金・預金	1,186,228	預り金	447
預託金	5	前受金	2,208
前払費用	2,399	未払金	9,719
未収収益	11,499	未払法人税等	19,810
繰延税金資産	1,745		
固定資産	22,997	固定負債	10,779
有形固定資産	5,779	資産除去債務	10,779
建物附属設備	5,267		
器具・備品	512	負債合計	42,965
無形固定資産	800	純資産の部	
ソフトウェア	800	科目	金額
電話加入権	0	株主資本	1,181,910
投資その他の資産	16,417	資本金	500,000
長期差入保証金	13,712	資本剰余金	500,000
繰延税金資産	2,705	資本準備金	500,000
		利益剰余金	181,910
		その他利益剰余金	181,910
		繰越利益剰余金	181,910
		純資産合計	1,181,910
資産合計	1,224,875	負債・純資産合計	1,224,875

注) 千円未満を切り捨てて表示している。

損益計算書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
営業収益		287,839
受入手数料	287,839	
委託手数料	4,475	
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	146,760	
その他の受入手数料	136,603	
純営業収益		287,839
販売費・一般管理費		222,031
営業利益		65,808
営業外収益		205
受取利息	203	
雑益	1	
経常利益		66,013
税引前当期純利益		66,013
法人税、住民税及び事業税		23,226
法人税等調整額		▲ 789
当期純利益		43,577

注) 千円未満を切り捨てて表示している。

個別注記表
第18期事業年度
(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

当社の計算書類は、「会社計算規則」(平成18年法務省令第13号)の規定のほか、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)および「有価証券関連業經理の統一に関する規則」(昭和49年11月14日付日本証券業協会自主規制規則)に準拠して作成しております。記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

1. 継続企業の前提に関する注記

当社には、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しません。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)固定資産の減価償却の方法

- ①建物附属設備及び器具備品については定率法を採用しております。
- ②無形固定資産については定額法を採用しております。なお自社利用のソフトウェアについては、当社で定める社内の利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

(2)引当金計上基準

- ①貸倒引当金は、金銭債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしておりますが、当事業年度は該当ありません。
- ②賞与引当金は、従業員に対する賞与の支払に備えるため、所定の計算方法による支払見込額を計上しておりますが、当事業年度は該当ありません。

(3)その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- ①リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- ②消費税等の会計処理
消費税等の会計処理方法は、税抜き方式によっております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額 21,731千円

(2)関係会社に対する金銭債権債務

- ①短期金銭債権 7,063千円
- ②短期金銭債務

該当事項はありません。

4. 損益計算書に関する注記

(1)関係会社との取引高

①営業取引による取引高の総額

営業収益 118,185千円

営業費用 138千円

②営業取引以外の取引による取引高の総額

該当事項はありません。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式に関する事項

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	6,000	-	-	6,000
A種類株式(株)	14,000	-	-	14,000

(2) 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

(3) 配当に関する事項

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,836	306	平成27年 3月31日	平成27年 6月26日
	A種類株式	4,284	306	平成27年 3月31日	平成27年 6月26日

(4) 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

6. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:千円)

項目	当期末残高
未払事業所税	72
未納付事業税	1,652
資産除去債務	3,326
その他	214
繰延税金資産小計	5,265
評価性引当額	△ 146
繰延税金資産合計	5,118
資産除去債務に対応する除去費用	667
繰延税金負債合計	667
繰延税金資産の純額	4,450

(2) 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げが行われることとなりました。

また、「東京都都税条例の一部を改正する条例」(平成28年東京都条例第79号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年年4月1日以降に開始する事業年度から法人事業税率の引下げが行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.34%から平成28年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等については30.62%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

7. リースにより使用する固定資産に関する注記

電子計算機およびその周辺機器、その他の事務用機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については、短期的な預金に限定しております。預金は預入先の信用リスクに晒されていますが、取引相手先は信用度の高い金融機関であり、信用リスクはほとんどないと判断しております。

なお、信用度に変化が生じた場合には預入先を変更する等の管理体制をとっております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

科目	貸借対照表計上額	時価	差額
①現金・預金	1,186,228	1,186,228	-

注1) 金融商品の時価の算定方法

①現金・預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

9. 賃貸等不動産に関する注記

該当事項はありません。

10. 関連当事者との取引に関する注記

属性	会社等の名称	議決権等の所有割合 (%)	関連当事者が有する当社の議決権の割合 (%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円) 注1)	取引条件及び取引条件の決定方針	科目	期末残高 (千円) 注1)
親会社	(株)日本政策投資銀行	—	100.00	証券関連業務に対するアドバイザー等 役員の兼任	証券関連業務に係るアドバイザー手数料等	118,185	注2)	未収収益	7,063

注1)取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

注2)当社は、親会社との取引に関して、他の資本関係のない会社と取引する場合と同様の適切な条件に基づき、取引内容および条件の妥当性について当社経営会議で判断しております。

11. 一株当たり情報に関する注記

(1)一株当たり純資産額	59,095.51円
(2)一株当たり当期純利益	2,178.85円

12. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

13. 連結配当規制適用会社に関する注記

該当事項はありません。

14. その他の注記

(1)資産除去債務に関する注記

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

①当該資産除去債務の概要

平成25年2月に移転したオフィスの定期建物賃貸借契約に伴う原状回復義務であります。

②当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を定期賃貸借期間終了までの56ヶ月とし、割引率は0.126%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

③当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

(単位:千円)

期首残高	10,766
有形固定資産の取得に伴う増加額	—
時の経過による調整額	13
資産除去債務の履行による減少額	—
期末残高	10,779

注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。